

共催セミナーのご案内

3月6日（木）12：40～13：30

■ランチョンセミナー 1

第1会場（コンベンションセンター3階 コンベンションホールA）

KDDI：医療と通信の融合で救う未来（TBA）

第一部：令和6年能登半島地震の舞台裏 災害対応の実態と教訓

第二部：災害現場の通信環境 変わる環境と未来

演 者：中井 一雄（KDDIまとめてオフィス株式会社 プロジェクト営業本部 中部ビジネスソリューション部 部長）

第三部：通信キャリアとして、医療DXへの取り組み（TBA）

演 者：朝日 崇（KDDIまとめてオフィス中部株式会社 法人営業1部 部長）

座 長：朝日 崇（KDDIまとめてオフィス中部株式会社 法人営業1部 部長）

共催：KDDI まとめてオフィス中部株式会社

■ランチョンセミナー 2

第2会場（コンベンションセンター4階 コンベンションホールB）

医療関係者のためのワクチンガイドラインから学ぶ

演 者：三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 主任教授）

座 長：佐々木淳一（慶應義塾大学医学部 救急医学 教授）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

■ランチョンセミナー 3

第3会場（交流センター3階 会議ホール）

来るべき大災害への備えは万全か ～防災庁設置へ向けて、災害医療の貢献を考える～

健康危機管理における組織・理念はどうあるべきか～神奈川県医療危機対策統括官として目指したこと～

演 者：阿南 英明（地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長）

新型コロナウイルス感染症に対するDMATの対応

演 者：近藤 久禎（独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT事務局 次長）

座 長：山本 尚範（名古屋大学医学部附属病院 救急科／名古屋大学 減災連携研究センター 講師）

小出 直史（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 行動経済学ユニット 特任准教授）

共催：塩野義製薬株式会社

3月7日（金）12：20～13：10

■ランチョンセミナー 4

第1会場（コンベンションセンター3階 コンベンションホールA）

災害時における「医療コンテナ」の代替医療施設活用を考える ー能登半島地震の実例からー

演 者：中村 健一（志賀町立富来病院 副院長）

小浦 友行（ごちゃまるクリニック 院長）

指定発言者：渡邊 栄三（愛知医科大学 医学部救急集中治療医学講座 教授）

座 長：中田 敬司（神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授）

共催：エア・ウォーター防災株式会社

■ランチョンセミナー 5

第2会場（コンベンションセンター4階 コンベンションホールB）

～未来を見据えた災害対策～ 最新の患者搬送資器材とその整備

当院におけるドクターカー新規導入と運用

演 者：小川健一郎（名古屋掖済会病院 救急科）

階段搬送のNew Standard ～電動リフトチェアの可能性～

演 者：木村 龍（国土舘大学大学院 救急システム研究科）

座 長：田中 秀治（国土舘大学大学院 救急システム研究科 研究科長）

共催：日本ストライカー株式会社

■ランチョンセミナー 6

取り下げ

■ランチョンセミナー 7

第8会場（イベント館2階 イベントホール1）

令和6年能登半島地震対応 水とトイレとイージーウォームへえ～、こういうものがあったんだ

演 者：圓角 文英（公立能登総合病院 脳神経外科）

座 長：山田 秀則（名古屋掖済会病院 副看護部長）

共催：メンリッケヘルスケア株式会社

3月8日（土）12：10～13：00

■ランチョンセミナー 8

第2会場（コンベンションセンター4階 コンベンションホールB）

災害時の高カリウム血症の対策を考える～我が国の災害医療対策を含めて～

演 者：大友 康裕（独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 病院長）

座 長：北川 喜己（名古屋掖済会病院 院長 救命救急センター 特別顧問）

共催：アストラゼネカ株式会社

■ランチョンセミナー 9

第4会場（交流センター3階 第3会議室）

災害時における画像検査の活用

急性期医療におけるヘルスケアITの活用：デジタル技術がもたらす効率化の可能性

演 者：小野 竜矢（キヤノンメディカルシステムズ株式会社 エンタープライズ画像ソリューション部）

2Room型Hybrid-ERとX線装置搭載型ドクターカーの展望

演 者：小川健一郎（名古屋掖済会病院 救急科）

座 長：船曳 知弘（藤田医科大学病院 高度救命救急センター）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社